

業務デザイナー機能説明書

GMO サインオプション編

目次

GMO サインオプション	3
電子印鑑 GMO サインオプション機能概要	3
電子印鑑 GMO サインオプション制限事項	5
電子印鑑 GMO サイン連携テンプレート設定	5
GMO サイン連携用のワークフロー作成手順	5
STEP1: クライアントアプリケーションへのログイン	5
STEP2: 帳票定義の作成	6
STEP3: フロー連携の作成	6
STEP4: フローテンプレートの作成	11
STEP5: フローフォルダの設定	12
電子印鑑 GMO サイン連携用の申請フロー作成	13

GMO サインオプション

業務デザイナーで作成したワークフローより、帳票や添付ファイルを基に PDF の契約書を作成後、電子印鑑 GMO サインへ連携し、PDF ファイルに電子署名を行うことができます。また、電子署名した文書を業務デザイナーの文書管理に保存することも可能です。

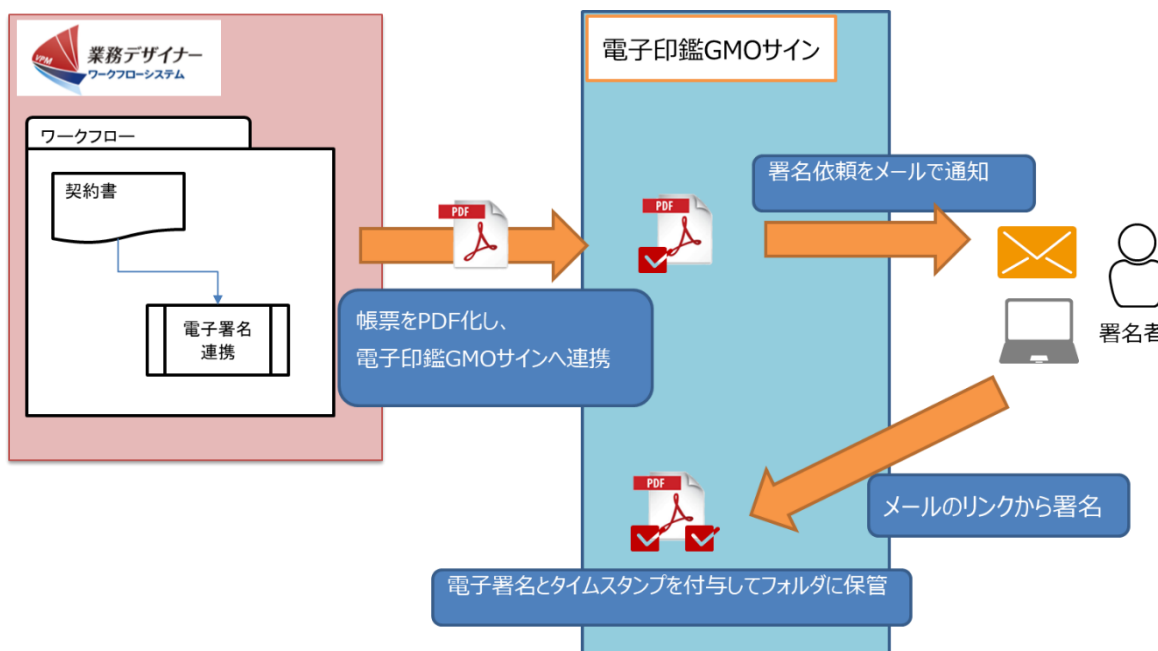
電子印鑑 GMO サイン連携オプションを導入している場合のみ利用できます。

電子印鑑 GMO サインオプション機能概要

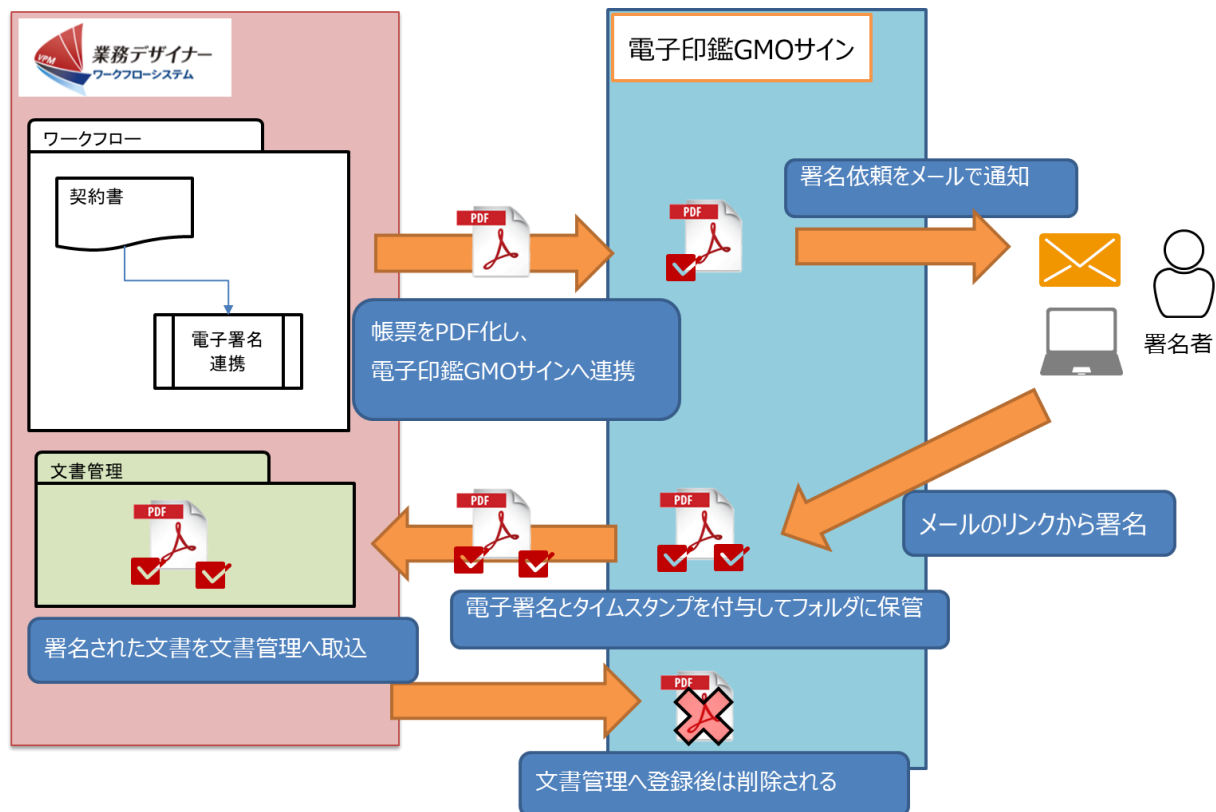
業務デザイナーで作成した申請フローの帳票と添付ファイルを電子印鑑 GMO サインへ文書として登録することができます。登録した文書には電子署名が付与され、指定した署名者に電子印鑑 GMO サインより署名依頼メールが送信されます。署名者はメールより署名を行い、署名された文書は電子印鑑 GMO サインの Web サイトより確認することができます。（下図の運用パターン 1）

また、設定により署名した文書を文書管理へ登録することも可能です。（下図の運用パターン 2）

運用パターン1（電子印鑑 GMO サインで文書を管理する場合）



運用パターン 2（文書管理で文書を管理する場合）



本オプションを使用して、GMO サインへ連携するためには以下の設定が必要になります。

- 電子印鑑 GMO サイン連携テンプレート設定
- GMO サイン連携用のワークフロー作成手順

電子印鑑 GMO サインオプション制限事項

以下に電子印鑑 GMO サインオプションにおける制限事項を記載いたします。

署名タイプについて

電子印鑑 GMO サインでは署名タイプが契約印タイプ（電子署名）と実印タイプ（身元確認済み 高度電子署名）の2種類ありますが、本オプションで対応しているのは契約印タイプ（電子署名）のみとなります。

電子印鑑 GMO サイン連携テンプレート設定

電子印鑑 GMO サイン連携テンプレート設定については、[電子印鑑 GMO サイン連携テンプレート設定一覧編] をご参照ください。

GMO サイン連携用のワークフロー作成手順

GMO サイン連携を行うには、GMO サイン連携用申請フローを起票して承認を得る必要があります。ここでは、GMO サイン連携用の帳票、フローテンプレートの作成方法や注意事項について説明します。

STEP1: クライアントアプリケーションへのログイン

帳票定義、フローテンプレート、フロー連携定義の作成には、クライアントアプリケーションへのログインが必要となります。帳票・フロー作成ライセンスを持つユーザーにてログインしてください。

[ログイン・メニュー編-ログイン] をご参照ください。

- ① 連携元に、STEP2. で作成した帳票定義を選択してください。
 - ② 連携設定数を設定して、[連携設定]ボタンをクリックしてください。
- ※説明書は、[フロー連携定義編-ファイル出力設定] をご参照ください。

【フロー連携定義設定画面 - 連携帳票情報タブ】

フロー連携定義設定

連携ID * TK0002

連携名 * 契約書2

連携種別 * ファイル出力 連携種別変更 連携後処理 * あり 1 連携後処理設定

連携帳票情報 連携情報1 ファイル情報 連携後処理情報1

① 連携元帳票 * 検索 K0002 秘密保持契約書

連携設定数 1 連携設定 ②

設定 閉じる

【フロー連携定義設定画面 - 連携情報タブ】

フロー連携定義設定

連携ID * TK0002

連携名 * 契約書2

連携種別 * ファイル出力 連携種別変更 連携後処理 * あり 1 連携後処理設定

連携帳票情報 連携情報1 ファイル情報 連携後処理情報1

追加 削除 ↑ ↓ 連携項目自動割当 件数 72 件

No.	連携先項目	型	連携区分	固定値	連携元項目	選択
1	申請フローID	文字	申請フローID			選択
2	管理帳票ID	文字	管理帳票ID			選択
3	履歴番号	文字	履歴番号			選択
4	文書管理-フォルダID	文字	帳票項目		文書管理-フォルダID	選択
5	文書管理-文書番号	文字	帳票項目		文書管理-文書番号	選択
6	文書管理-文書名	文字	帳票項目		文書管理-文書名	選択
7	署名方法	文字	帳票項目		署名方法	選択
8	フォルダID	文字	帳票項目		フォルダID	選択
9	文書名	文字	帳票項目		文書名	選択
10	自署名-会社名	文字	帳票項目		自署名-会社名	選択
11	自署名-担当者名	文字	帳票項目		自署名-担当者名	選択
12	自署名-メールアドレス	文字	帳票項目		自署名-メールアドレス	選択
13	他署名1-会社名	文字	帳票項目		他署名1-会社名	選択
14	他署名1-担当者名	文字	帳票項目		他署名1-担当者名	選択
15	他署名1-メールアドレス	文字	帳票項目		他署名1-メールアドレス	選択
16	他署名2-会社名	文字	帳票項目		他署名2-会社名	選択
17	他署名2-担当者名	文字	帳票項目		他署名2-担当者名	選択

連携判定 * 常に作成 選択

設定 閉じる

連携データフォーマット（固定部）

No.	項目名	型	連携区分	備考（設定内容等）
1	申請フローID	文字	申請フローID	
2	管理帳票 ID	文字	管理帳票 ID	
3	履歴番号	文字	履歴番号	
4	文書管理－フォルダ ID	文字	帳票項目	文書管理へ文書登録時のフォルダ ID 文書管理へ登録する場合は文書管理のフォルダ ID を入力する項目を設定します。 登録しない場合は空白を設定します。
5	文書管理－文書番号	文字	帳票項目	文書管理へ文書登録時の文書番号 文書管理へ登録する場合は文書管理の文書番号を入力する項目を設定します。 登録しない場合は空白を設定します。
6	文書管理－文書名	文字	帳票項目	文書管理へ文書登録時の文書名 文書管理へ登録する場合は文書管理の文書名を入力する項目を設定します。 登録しない場合は空白を設定します。
7	署名方法	文字	帳票項目	3：契約印タイプ（電子署名）のみ指定可能
8	フォルダ ID	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録時のフォルダ ID
9	文書名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する文書名
10	自署名－会社名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する自署名の会社名
11	自署名－担当者名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する自署名の担当者名
12	自署名－メールアドレス	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する自署名の E メールアドレス
13	他署名 1－会社名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 1 の会社名
14	他署名 1－担当者名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 1 の担当者名
15	他署名 1－メールアドレス	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 1 の E メールアドレス
16	他署名 2－会社名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 2 の会社名※1
17	他署名 2－担当者名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 2 の担当者名※1
18	他署名 2－メールアドレス	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 2 の E メールアドレス※1
19	・・・			・・・
20	他署名 20－会社名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 20 の会社名※1
21	他署名 20－担当者名	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 20 の担当者名※1
22	他署名 20－メールアドレス	文字	帳票項目	電子印鑑 GMO サインに登録する他署名 20 の E メールアドレス※1

※1：他署名 2～20 は任意項目となります。必要な他署名位置の分だけ項目を追加してください。
追加時は会社名・担当者名・E メールアドレスの 3 項目すべてを追加してください。

【フロー連携定義設定画面 - ファイル情報タブ】

フロー連携定義設定

連携ID * TK0002

連携名 * 契約書2

連携種別 * ファイル出力 連携種別変更 連携後処理 * あり 1 連携後処理設定

連携帳票情報 連携情報1 **ファイル情報** 連携後処理情報1

① 文字コード * UTF-8 改行コード * LF ②

③ ファイル名 * 可変

④ ファイル接頭辞 GMO ファイル拡張子

⑤ ファイル出力方法 * 1ファイルに出力 ファイル書込方法

ファイル名サンプル GMO_WFID999999_yyyyMMddHHmmss

⑥ 区切り文字 * 改行 項目囲い文字 * なし ⑦

⑧ データ転送方法 * なし ファイル出力先 ../temporary ⑨

転送先IPアドレス 転送先ポート

転送先ユーザー 転送先パスワード

転送先ディレクトリ

設定 閉じる

【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	文字コード	-	-	UTF-8 を選択します。
2	改行コード	-	-	LF を選択します。
3	ファイル名	-	-	可変を選択します。
4	ファイル接頭辞	文字列	16	「GMO」を入力します。
5	ファイル出力方法	-	-	1 ファイルに出力を選択します。
6	区切り文字	-	-	改行を選択します。
7	項目囲い文字	-	-	なしを選択します。
8	データ転送方法	-	-	なしを選択します。
9	ファイル出力先	-	-	Windows の場合「temporary」を入力します。 CentOS の場合「../temporary」を入力します。

【フロー連携定義設定画面 - 連携後処理情報タブ】

フロー連携定義設定

連携ID * TK0002

連携名 * 契約書2

連携種別 * ファイル出力 連携種別変更 連携後処理 * あり 1 連携後処理設定

連携帳票情報 連携情報1 ファイル情報 連携後処理情報1

① 処理名 * 電子印鑑GMOサイン連携

② 実行コマンド * URL %Server%/gmo/gmolink

③ 戻り値 * あり 正常時戻り値 0

④ エラーメッセージ 【電子印鑑GMOサイン連携：失敗】

⑤ 連携メッセージ追記 * する タイムアウト（秒） 60 ⑥

⑦ パラメータ数 * 2 パラメータ設定

⑧ パラメータ

No.	パラメータ名	パラメータ区分	ユーザー情報	ユーザー情報詳細	帳票項目	選択	固定値
1	wfid	申請フローID				選択	
2	filename	連携ファイル名(代表のみ)				選択	

設定 閉じる

【項目の説明】

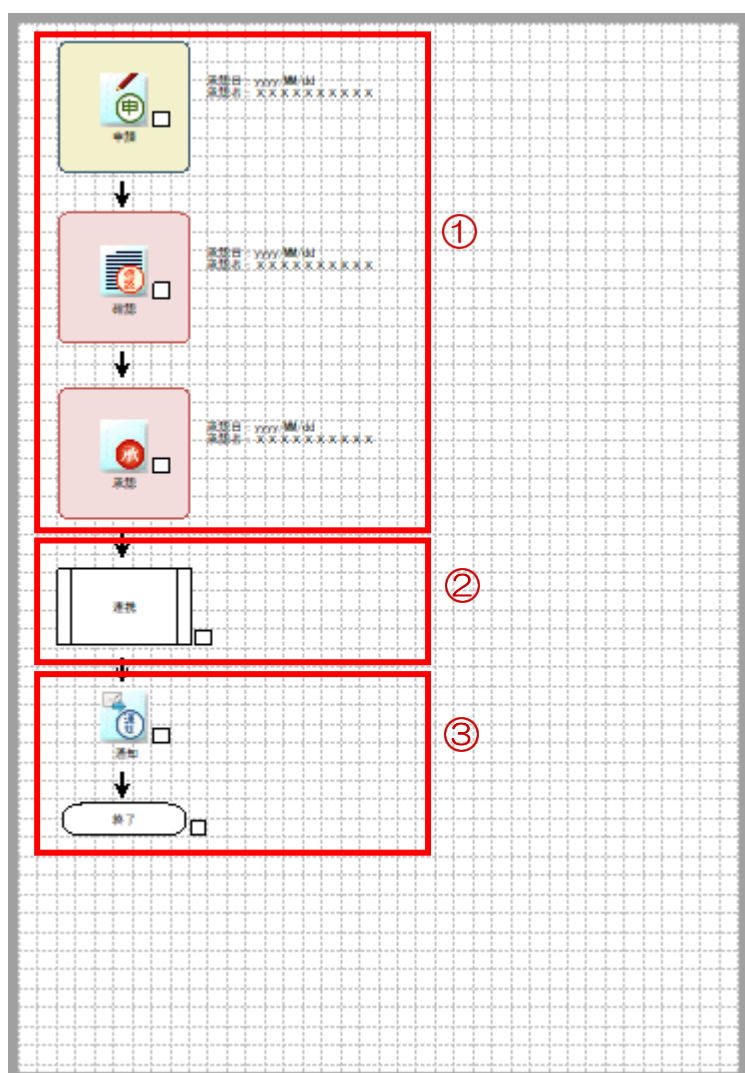
No.	項目名	型	桁数	説明
1	処理名	文字列	255	任意の処理名を入力します。 例：「電子印鑑 GMO サイン連携」
2	実行コマンド	-	-	URL を選択し、「%Server%/gmo/gmolink」を入力します。
3	戻り値	-	-	ありを選択し、「0」を入力します。
4	エラーメッセージ	文字列	240	任意のエラーメッセージを入力します。 例：「【電子印鑑 GMO サイン連携：失敗】」
5	連携メッセージ追記	-	-	「する」を選択します。
6	タイムアウト（秒）	数値	4	「60」を入力します。
7	パラメータ数	数値	2	「2」を入力します。
8	パラメータ	-	-	以下のデータを入力します。 <div> <div>パラメータ名</div> <div>パラメータ区分</div> </div> <div> <div>wfid</div> <div>申請フローID</div> </div> <div> <div>filename</div> <div>連携ファイル名（代表のみ）</div> </div>

STEP4: フローテンプレートの作成

フローテンプレート作成の承認ルートは自由に設定可能ですが、フローテンプレート作成の起動設定で「システム連携」を選択し、フロー連携定義設定で作成したデータを選択してください。

※フローテンプレート作成については、[フローテンプレート作成編-フローテンプレート作成画面]をご参照ください。

【GMO サイン連携用フローテンプレートのサンプル】



1. フローを定義する

フローについては、承認ルートの最後にデータ登録の完了処理を実行する起動処理を設定する必要があります。

1-1. 帳票や承認ルートの設定

帳票には、STEP2. で作成した帳票定義を選択してください。承認ルート（【GMO サイン連携用フローテンプレートのサンプル】①）は特別な設定は必要ありません。

※説明書は、[フローテンプレート画面項目編-帳票設定] をご参照ください。

※説明書は、[フローテンプレート画面項目編-承認設定] をご参照ください。

1-2. GMO サイン連携データ登録処理起動設定

GMO サイン連携データ登録処理として、（【GMO サイン連携用フローテンプレートのサンプル】②）の起動設定を行います。

① 起動区分に「システム連携」を設定してください。

② システム連携名に STEP3.で作成したフロー連携定義を設定してください。

※説明書は、[フローテンプレート画面項目編-起動設定] をご参照ください。

【フローテンプレート作成 - 起動設定画面】

1-3. その他の設定

通知・終了など（【GMO サイン連携用フローテンプレートのサンプル】③）は、特別な設定は必要ありません。

STEP5: フローフォルダの設定

作成したフローテンプレートを申請フローとして利用できるように、適当なフローフォルダに保管します。

設定方法については、[フローフォルダ設定編-フローフォルダ設定画面] をご参照ください。

電子印鑑 GMO サイン連携用の申請フロー作成

1. 新規申請からフローを起票する

「GMO サイン連携用のワークフロー作成手順」で作成したフローを起票し、項目を入力します。

[戻る](#)
[保存](#)
[作成](#)
[中止](#)
[削除](#)
[次へ](#)

秘密保持契約書Ver1.0 秘密保持契約書

フロー表示

ページ 1 **ページ 2** ページ 3 ページ 4

メニュー

- 添付ファイル
- コメント
- PDF出力
- 結果コピー
- URL
- 戻る

電子印鑑GMOサイン連携

管理番号: GMO-000000004

承認者	確認者	申請者

署名方法

フォルダID

文書名

文書管理

フォルダID

文書番号

文書名

自署名

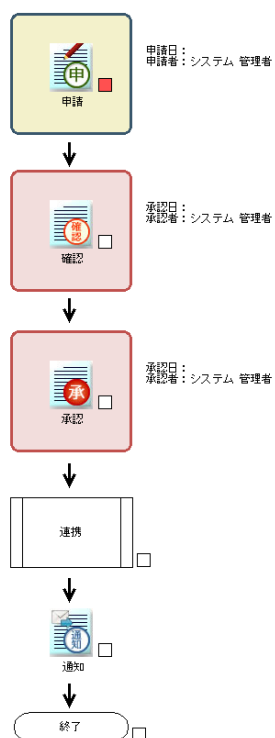
会社名

担当名

メールアドレス

閉じる

GMO-000000004 秘密保持契約書Ver1.0



2. 申請フローを完了する

フローを起動処理まで回し、起動設定が行われて、電子印鑑 GMO サイン連携が完了すると、電子印鑑 GMO サインより各他署名位置のメールアドレスに署名依頼のメールが一斉に送信されます。

署名が完了すると以下のことが行われます。

- 電子印鑑 GMO サイン連携テンプレート設定で署名後に文書管理へ登録が「登録する」に設定されている場合、電子印鑑 GMO サインのフォルダからは文書が削除され、業務デザイナーの文書管理に文書が登録されます。
- 電子印鑑 GMO サイン連携テンプレート設定で署名後に文書管理へ登録が「登録しない」に設定されている場合、電子印鑑 GMO サインに署名された文書が保存されます。

※署名状況の確認方法については、[帳票編] の署名状況をご参照ください。

書 名：業務デザイナー 機能説明書（GMO サインオプション編）

発行元：株式会社ユニオンシンク

発行日：2022 年 5 月 11 日

©2022 UnionThink CO.,LTD.